○解剖学：605-2-DP1・DP3・DP4・DP7

年次	学期	学則科目責任者
2年次	通年	塩崎　一成（解剖学）

学修目標（ＧＩＯ）と単位数	・単位数：７単位 ・学修目標（ＧＩＯ）：歯科医学の基礎となる人体の構造と機能を理解し，ヒトのからだの一般的な形態を説明できる。講義においては、各器官系の解剖（系統解剖学）を学修することにより、人体の全体的・系統的な構造と機能を体系的に説明できる。解剖実習においては局所解剖学を学修することにより，臨床的観点から人体の構造と機能を説明できる。
担当教員	塩崎　一成、五十嵐　由里子、松野　昌展、榊　実加、近藤　信太郎、佐々木　佳世子、内藤　美智子、宮坂　知宏
教科書	入門人体解剖学改訂第6版　藤田恒夫　改訂:藤田信也　南江堂 歯科国試パーフェクトマスター 口腔解剖学 第2版　阿部伸一　医歯薬出版 プロメテウス解剖学コアアトラス　坂井建雄　監訳　医学書院
参考図書	Qシリーズ 新解剖学（改訂第７版）　加藤　征　日本医事新報社 口腔解剖学 第２版　脇田　稔，井出吉信監修　医歯薬出版 プロメテウス解剖学アトラス　口腔・頭頸部 第2版　坂井建雄、天野修　監訳　医学書院 プロメテウス解剖学アトラス　解剖学総論・運動器系　坂井建雄・松村譲兒　監訳　医学書院 プロメテウス解剖学アトラス　頸部／胸部／腹部・骨盤部　坂井建雄・大谷修　監訳　医学書院 プロメテウス解剖学アトラス　頭頸部・神経解剖　坂井建雄・河田光博　監訳　医学書院 ネッター解剖学　相磯貞和　訳　南江堂 解剖学カラーアトラス　横地千仭　医学書院 分担　解剖学　改訂第11版（１～３）　小川鼎三・ 森於菟他　金原出版
評価方法（ＥＶ）	【前学期（講義）】２回の平常試験の合計によって評価する。１回目40%，２回目60%の比率とする。 【後学期（実習）】２回の平常試験の合計によって評価する。１回目40%，２回目60%の比率とする。 それぞれの平常試験は実習室において実施するご遺体の解剖名称と関連知識を答えるものとする。課題の未提出や遅提出などの実習態度不良が認められた場合は減点する。実習終了直前に解剖実習の感想文を提出する。優れた感想文は献体登録会員向けの情報誌に掲載する。 【総合評価】前学期（講義）と後学期（実習）の評価を各50%として総合評価をする。前学期・後学期のそれぞれについて合格点（60点）に達しない者に対し再試験を行うが，前学期・後学期それぞれ1/5以上欠席した場合，再試験の受験資格を与えないため、評価点は0-60点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	解剖学は歯科医学において、最も基本的で必須の知識であり、人体構造の知識が不十分な者が歯科臨床に携わることは許されない。全身の解剖学を学ぶために講義・実習時間は十分とは言えないが、与えられた時間を十分に活用し，正確な知識を身につけて欲しい。前学期の系統解剖学の講義では予習より復習に重点を置いた学習が効果的である。後学期の解剖実習では篤志家にご献体いただいたご遺体を解剖させていただくことにより、前学期に座学で学んだ知識を確実なものとすると共に局所解剖の知識を学修する。必ず予習をして観察すべき構造の知識を正確なものとしておくこと。実習は解剖学の知識を身につけると同時に、医療者としての倫理観を学ぶ場でもある。諸君はご遺体を提供いただいた方々に恥じぬよう真摯に学ばなくてはならない。実習においては臨床系講座の教員が歯科医師の実務経験を活かして、解剖学と臨床との関係を説明するので、将来、解剖学が臨床のどのような場面で必要となるかを理解して欲しい。 毎年10月に築地本願寺において日本大学歯学部と合同の解剖体追悼法要が行われる。死後ご自身の体を解剖実習に供された方々に対して追悼と感謝を捧げる唯一の機会となる。コロナ禍により解剖体追悼法要への参列が叶わない場合には学部内で解剖追悼式を実施する。これらの追悼行事には必ず出席すること。 オフィスアワーは講義・実習の行われた日の授業後とする。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/07（月） 1時限 09:30～11:00	人体解剖学総論	【授業の一般目標】 ヒトの体の成り立ちを理解し，身体の部位，方向用語を学習する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 細胞から器官系にいたる人体の階層構造を説明できる。 2. 人体の全身の区分を説明できる。 3. 医学・歯学で使われる人体の方向用語やその他の特殊な解剖用語を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」１．解剖学とはなにか，２．器官とその系統，４．人体の外形と方向用語，の章を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　人体の区分，方向用語，解剖用語等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/07（月） 1時限 09:30～11:00	人体解剖学総論	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－１）　身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/04/07（月） 2時限 11:10～12:40	骨格系　総論	【授業の一般目標】 全身の骨格を学ぶために骨の形態的特徴を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.骨の形態的特徴と機能的意味を説明できる。 2.骨の発生を説明できる。 3.骨の連結を説明できる。 4.全身の骨格を説明できる。 5.全身の主な関節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」５骨格系，031-037ページ，A骨の連結，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：骨学総論，関節学総論等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（２）　支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 ③骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。 ④骨発生（軟骨内骨化と膜内骨化）、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。	松野　昌展
2025/04/10（木） 1時限 09:30～11:00	骨格系　頭蓋骨１ （頭蓋冠，頭蓋底）	【授業の一般目標】 頭蓋冠と頭蓋底を構成する各骨の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.ヒト頭蓋の特徴が説明できる。 2.頭蓋冠を構成する骨の説明ができる。 3.頭蓋底を構成する骨の説明ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」41～48ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：頭蓋冠，頭蓋底，顎骨の変化等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ａ　頭蓋の全容 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	榊　実加
2025/04/14（月） 1時限 09:30～11:00	骨格系　頭蓋骨２ （鼻腔と副鼻腔，眼窩）	【授業の一般目標】 頭蓋骨各部の構造を説明できる。	榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	骨格系　頭蓋骨２（鼻腔と副鼻腔，眼窩）	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.鼻腔と副鼻腔を構成する骨を説明できる。 2.眼窩を構成する骨を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」48～49ｐ、52～53ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：頭蓋，脳頭蓋等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ａ　頭蓋の全容 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	榊　実加
2025/04/14（月） 2時限 11:10～12:40	骨格系　体幹	【授業の一般目標】 脊柱と胸郭の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.椎骨の構造を説明できる。 2.胸郭の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」５骨格系，C脊柱，D胸郭,を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：脊柱と椎骨を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（２）　支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。	松野　昌展
2025/04/17（木） 1時限 09:30～11:00	骨格系　頭蓋骨3（翼口蓋窩，上顎）	【授業の一般目標】 頭蓋各部の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.翼口蓋窩の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学」Chapter1を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：蝶形骨，上顎骨，骨口蓋，翼口蓋窩等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む）	榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/17（木） 1時限 09:30～11:00	骨格系　頭蓋骨3 （翼口蓋窩，上顎）	【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	榊　実加
2025/04/21（月） 1時限 09:30～11:00	骨格系　頭蓋骨4 （下顎骨，舌骨）	【授業の一般目標】 頭蓋各部の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.下顎骨の構造を説明できる。 2.顎関節を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」50ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：蝶形骨，上顎骨，骨口蓋，翼口蓋窩等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む） 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	榊　実加
2025/04/21（月） 2時限 11:10～12:40	骨格系　骨盤・体肢	【授業の一般目標】 骨盤，体肢の各骨の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.骨盤を構成する骨の構造を説明できる。 2.上肢を構成する骨の構造を説明できる。 3.下肢を構成する骨の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」５骨格系，E上肢の骨格，F下肢の骨格，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：骨盤，上肢骨，下肢骨等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（２）　支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。	松野　昌展
2025/04/24（木） 1時限 09:30～11:00	筋系　総論、背部	【授業の一般目標】 骨格筋の構造を説明できる。起始と停止が説明できる。背部の筋を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.筋の種類を説明できる。 2.筋の機能を説明できる。 3.筋の作用を説明できる。 4.骨格筋の構造を説明できる。 5.背部の筋の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」６筋系，083-087ページ，D背部の筋，を通読する。 ・事前学修時間：　20分	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/24（木） 1時限 09:30～11:00	筋系　総論、背部	・事後学習項目：　筋学総論等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/04/28（月） 1時限 09:30～11:00	筋系　胸部・腹部	【授業の一般目標】 骨学で学習した脊柱や胸郭に関する知識を基に胸部、腹部に存在する筋の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.胸部の筋の構造と機能を説明できる。 2.腹部の筋の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」６筋系，C胸部の筋，D背部の筋，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　胸部，腹部の筋を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/04/28（月） 2時限 11:10～12:40	筋系　頭部（顔面筋（表情筋），頸部の筋）	【授業の一般目標】 頭蓋の筋の走行を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顔面筋（表情筋）の構造を説明できる。 2.頸部の筋の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学」の咀嚼筋、頸部の筋を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　表情筋，頸部の筋等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｂ　咀嚼筋 【コアカリキュラム】	松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/28（月） 2時限 11:10～12:40	筋系　頭部（顔面筋（表情筋），頸部の筋）	Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	松野　昌展
2025/05/01（木） 1時限 09:30～11:00	筋系　上肢・下肢	【授業の一般目標】 骨学で学習した上肢と下肢の骨の知識を基に，上肢と下肢の筋の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.上肢の筋の構造と機能を説明できる。 2.下肢の筋の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」６筋系，F上肢の筋，G下肢の筋，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　上・下肢の筋等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ①筋組織の分類と分布を説明できる。 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/05/12（月） 1時限 09:30～11:00	消化器系　総論 口腔1	【授業の一般目標】 消化器系の構成を説明できる。口腔の構造を説明できる。口唇，頬の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.消化器系の全体像を説明できる。 2.口腔の区分を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」消化器系の口腔を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　本日の消化器系の講義の復習をする。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 オ　消化器系 ａ　消化管 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ②口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/05/12（月） 2時限 11:10～12:40	筋系　頸部（舌骨筋群，頸部の三角），顎運動に関連した筋	【授業の一般目標】 頸部の筋の構造と機能を説明できる。 顎運動に関連した筋の機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.舌骨上筋群の走行を説明できる。	榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/12（月） 2時限 11:10～12:40	筋系　頸部（舌骨筋群，頸部の三角），顎運動に関連した筋	2.舌骨下筋群の走行を説明できる。 3.舌骨筋群のはたらきを説明できる。 4.頸部の三角を構成する筋の走行を説明できる。 5.咀嚼筋郡の働きを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学」の前頸筋、舌骨筋群、咀嚼筋を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　頸部の筋、舌骨筋群、咀嚼筋を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｃ　浅頸筋 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	榊　実加
2025/05/15（木） 1時限 09:30～11:00	消化器系　口腔２	【授業の一般目標】 口蓋，口腔底，口峡の構造を説明できる。舌の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口蓋の構造と機能を説明できる。 2.口腔底の構造を説明できる。 3.口峡を説明できる。 4.舌の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「口腔解剖学」の口蓋、舌を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　口蓋，口腔底，口峡，舌等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/05/19（月） 1時限 09:30～11:00	消化器系　咽頭・食道・胃・腸	【授業の一般目標】 咽頭の構造を説明できる。食道の構造を説明できる。胃の構造を説明できる。小腸，大腸の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.咽頭の構造と機能を説明できる。 2.食道の構造と機能を説明できる。 3.胃の構造と機能を説明できる。 4.小腸の構造と機能を説明できる。 5.大腸の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」８消化器系，B咽頭，C食道，D胃，E小腸，F大腸，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　咽頭，食道，胃，腸等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/19（月） 1時限 09:30～11:00	消化器系　咽頭・食道・胃・腸	【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 オ　消化器系 ａ　消化管 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/05/19（月） 2時限 11:10～12:40	骨格系　頭蓋骨５（骨実習）	【授業の一般目標】 頭蓋骨全体の各部の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.脳頭蓋と顔面頭蓋の構造が説明できる。 2.内頭蓋底と外頭蓋底の構造が説明できる。 3.蝶形骨と側頭骨の構造が説明できる。 4.眼窩・鼻腔・副鼻腔の構造を説明できる。 5.翼口蓋窩の構造が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：教科書と配付資料を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　頭頸部の骨・筋等を復習する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 頭蓋骨を観察して，座学の知識を総括する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む） 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。	松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/05/22（木） 1時限 09:30～11:00	消化器系　消化腺・腹膜	【授業の一般目標】 肝臓，胆嚢，膵臓の構造を説明できる。腹腔および腹膜の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.肝臓と胆嚢の構造と機能を説明できる。 2.膵臓の構造と機能を説明できる。 3.腹膜の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」８消化器系，G肝臓，H胆嚢，I膵臓，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：肝臓，胆嚢，膵臓，腹膜等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 オ　消化器系 ｂ　肝臓・胆道・膵臓 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/22（木） 1時限 09:30～11:00	消化器系　消化腺・腹膜		五十嵐　由里子
2025/05/26（月） 1時限 09:30～11:00	泌尿器系・生殖器系	【授業の一般目標】 腎臓と膀胱の構造，排尿の経路を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.腎臓の構造と機能を説明できる。 2.膀胱の構造と機能を説明できる。 3.排尿路を説明できる。 4.女性生殖器の構造を説明できる。 5.男性生殖器の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」10．泌尿器系　を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：腎臓の肉眼的形態と組織、生理との関連を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 キ　泌尿器・生殖器系 ａ　腎臓、尿路 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ-３-４）-（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/05/26（月） 2時限 11:10～12:40	骨格系　頭蓋骨６（骨実習）	【授業の一般目標】 頭蓋骨を構成する各骨の構造を説明できる。咀嚼筋と舌骨上筋の起始と停止を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭蓋を構成する各骨の構造と機能を説明できる。 2.咀嚼筋の起始と停止を説明できる。 3.舌骨上筋の起始を説明できる。 4.顎関節の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：筋に関する教科書と配付資料を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：頭頸部の骨・筋等を復習する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 頭蓋骨を観察して，座学の知識を総括する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｂ　咀嚼筋 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/05/28（水） 1時限 09:30～11:00	筋系　頭部（顔面筋（表情筋），咀嚼筋）	【授業の一般目標】 頭蓋の筋の走行を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顔面筋（表情筋）の構造を説明できる。 2.咀嚼筋の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	榊　実加 塩崎　一成

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/28（水） 1時限 09:30～11:00	筋系　頭部（顔面筋（表情筋），咀嚼筋）	・事前学修項目：「口腔解剖学」の咀嚼筋、顔面筋を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　表情筋，咀嚼筋等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｂ　咀嚼筋 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	榊　実加 塩崎　一成
2025/05/30（金） 1時限 10:00～10:50	平常試験１	【授業の一般目標】 総論，運動器，泌尿器系・生殖器系の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.解剖学の総論を説明できる。 2.全身の骨格系の構造を説明できる。 3.全身の筋の構造と機能を説明できる。 4.泌尿器系の構成を説明できる。 5.生殖器系の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　解剖学の総論，骨格系・筋系・呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事前学修時間：　3時間以上 ・事後学習項目：　解剖学の総論，骨格系・筋系・呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事後学習時間：　1時間以上 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－１）　身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（２）　支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/05/30（金） 3時限 13:00～13:50	解説	【授業の一般目標】 総論，運動器，泌尿器系・生殖器系の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.解剖学の総論を説明できる。 2.全身の骨格系の構造を説明できる。 3.全身の筋の構造と機能を説明できる。 4.泌尿器系の構成を説明できる。 5.生殖器系の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　解剖学の総論，骨格系・筋系・呼吸器系の構造と機能の復	五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/30（金） 3時限 13:00～13:50	解説	習。 ・事前学修時間：　3時間以上 ・事後学習項目：解剖学の総論，骨格系・筋系・呼吸器系の構造と機能の復習。 ・事後学習時間：　1時間以上 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−１）　身体の部位と方向用語 ①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（２）　支持組織と骨格系 ①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ−３−４）−（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/06/05（木） 1時限 09:30～11:00	呼吸器系　総論 鼻	【授業の一般目標】 呼吸器系の構成と外鼻の構造を説明できる。 鼻腔と副鼻腔の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.呼吸器の構成を説明できる。 2.気道の構造を説明できる。 3.外鼻と鼻腔の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」９呼吸器系，A鼻腔，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：気道，外鼻，鼻腔等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。	榊　実加
2025/06/09（月） 1時限 09:30～11:00	循環器系　総論 心臓	【授業の一般目標】 循環器系の概要を説明できる。心臓の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.動脈と動脈血，静脈と静脈血の違いを説明できる。 2.心臓の構造と機能を説明できる。 3.肺循環と体循環の違いを説明できる。 4.動脈、静脈、リンパ管の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」7．脈管系　血管系・心臓・肺循環と体循環　を通読する。	松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/09（月） 1時限 09:30～11:00	循環器系　総論 心臓	・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　脈管学総論等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ウ　循環器系 ａ　心臓、血管系、リンパ管系 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	松野　昌展
2025/06/09（月） 2時限 11:10～12:40	循環器系　全身の動脈	【授業の一般目標】 体幹、体肢の動脈の分布領域を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.大動脈の分枝を説明できる。 2.体幹、体肢の動脈の分布領域を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「「入門人体解剖学」7. 脈管系　血管系・心臓・肺循環と体循環・動脈系　を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　大循環と小循環などを確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 １　細胞・組織・器官の構造と機能 ウ　循環器系 ａ　心臓、血管系、リンパ管系 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。	松野　昌展
2025/06/12（木） 1時限 09:30～11:00	呼吸器系　喉頭、気管、気管支、肺、胸膜	【授業の一般目標】 喉頭から下気道の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.喉頭の構造と機能を説明する。 2.気管、気管支の構造と機能を説明する。 3.肺の構造と機能を説明する。 4.縦隔，胸腔および胸膜の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」９呼吸器系，B咽頭，C喉頭，D気管と気管支，E肺，F胸膜と胸膜腔，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　気管，気管支，肺，縦隔，胸膜等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項	榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/12（木） 1時限 09:30～11:00	呼吸器系　喉頭、気管、気管支、肺、胸膜	４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。	榊　実加
2025/06/16（月） 1時限 09:30～11:00	循環器系　静脈・リンパ系・胎生期循環	【授業の一般目標】 静脈系を説明できる。リンパ系を説明できる。頭頸部の所属リンパ節を説明できる。胎生期循環の特徴を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 静脈系を説明できる。 2. リンパ系の本幹を説明できる。 3. 所属リンパ節を説明できる。 4. 胎生期循環を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」7. 脈管系　静脈系・胎生時の循環系・リンパ系・脾臓・胸腺を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　全身の静脈と胸管を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ｂ　静脈系 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	松野　昌展
2025/06/16（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　総論１，脊髄	【授業の一般目標】 神経系の構成，区分，機能的分類などを説明できる。脊髄の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. ニューロンとシナプスを説明できる。 2. 白質，灰白質，神経節を説明できる。 3. 脊髄の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　「入門人体解剖学」279～287ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　頭蓋腔，脊柱管，脊髄の構造を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。	松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/19（木） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳１	【授業の一般目標】 間脳、脳幹、小脳の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 延髄の構造と機能を説明できる。 2. 橋の構造と機能を説明できる。 3. 中脳の構造と機能を説明できる。 4. 脳神経核を説明できる。 5. 小脳の構造と機能を説明できる。 6. 間脳の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　「入門人体解剖学」287～293ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　本日の神経系の講義の復習をする。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/06/23（月） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳２	【授業の一般目標】 大脳半球の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 大脳皮質の構造と機能を説明できる。 2. 大脳基底核の構造と機能を説明できる。 3. 大脳内の線維の走行を説明できる。 4. 脳の機能局在を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」293～300ｐ、306～308ｐを熟読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　本日の神経系の講義の復習をする。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/06/23（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　脊髄神経	【授業の一般目標】 末梢神経の形態と機能，脊髄神経の分布と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 末梢神経の構造と機能を説明できる。 2. 脊髄神経の分布を説明できる。 3. 神経叢の構造を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　脊柱管と脊髄の構造を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　脊髄神経，末梢神経，神経叢等を確認する。 ・事後学習時間：　30分	松野　昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/23（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　脊髄神経	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。	松野　昌展
2025/06/26（木） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳神経１	【授業の一般目標】 脳神経Ⅰ～Ⅳ，Ⅵの分布と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.嗅神経の構造と機能を説明できる。 2.視神経の構造と機能を説明できる。 3.眼球を動かす筋の神経支配を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　２人以上で組んで眼球の動きと明暗による瞳孔の大きさの変化を観察する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　感覚器の神経の構造と機能等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/06/30（月） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳神経２	【授業の一般目標】 脳神経Ⅴ，Ⅶの分布と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.三叉神経の分布と機能を説明できる。 2.顔面神経の分布と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　内頭蓋底と眼窩，翼口蓋窩，鼻腔，口腔の構造，位置関係を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　三叉神経，顔面神経の構造と機能等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/30（月） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳神経２	総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/06/30（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　脳神経 （骨実習）	【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し，脳神経の分布経路を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 内頭蓋底の構造が説明できる。 2. 外頭蓋底の構造が説明できる。 3. 翼口蓋窩と周囲の交通が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　頭蓋骨の講義内容を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　脳神経の通路を復習する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 頭蓋骨を観察して，脳神経の経路を総括する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/07/03（木） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳神経３	【授業の一般目標】 脳神経Ⅷ～Ⅸの分布と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 内耳神経の分布と機能を説明できる。 2. 舌咽神経の分布と機能を説明できる。 3. 内耳の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　側頭骨の構造を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　感覚器の神経の構造と機能等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書が基本で，必要に応じてスライドの提示やプリントの配布を行う。 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/07（月） 1時限 09:30～11:00	神経系　脳神経４、 自律神経	【授業の一般目標】 脳神経Ⅹ～Ⅻの分布と機能を説明できる。腺を支配する自律神経の分布と機能を説明できる。	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	神経系　脳神経４、自律神経	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.迷走神経の分布と機能を説明できる。 2.副神経の分布と機能を説明できる。 3.舌下神経の分布と機能を説明できる。 4.自律神経の全身の分布を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　「入門人体解剖学」334～340ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　腺を支配する自律神経の分布と機能等を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/07（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　脳神経（骨実習）	【授業の一般目標】 脳神経の経路を理解するために頭蓋骨を観察し，脳神経の分布経路を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.内頭蓋底の構造が説明できる。 2.外頭蓋底の構造が説明できる。 3.翼口蓋窩と周囲の交通が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　頭蓋骨の講義内容を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　脳神経の通路を復習する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 頭蓋骨を観察して，脳神経の経路を総括する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加 近藤　信太郎
2025/07/10（木） 1時限 09:30～11:00	循環器系　頭頸部の血管系	【授業の一般目標】 頭頸部の動脈の分布を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.　総頸動脈の枝の分布を説明できる。 2.　外頸動脈の枝の分布を説明できる。 3.内頸動脈の枝の分布を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」７脈管系，３動脈系，「口腔解剖学」Chapter6頭頸部の動脈，を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　顔面の動脈を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/10（木） 1時限 09:30～11:00	循環器系　頭頸部の血管系	【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ａ　動脈系 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/14（月） 1時限 09:30～11:00	局所解剖学　胸部	【授業の一般目標】 胸部の各器官系の位置関係を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.胸部の骨を説明できる。 2.胸部の筋を説明できる。 3.胸部の神経を説明できる。 4.胸部の循環を説明できる。 5.胸部の内蔵を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」の胸部に相当する箇所を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　各器官の位置関係を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 キ　頭頸部の局所解剖 ａ　画像解剖 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（１）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/14（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　総論２	【授業の一般目標】 脳内部と周囲の構造を説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.髄膜の構造を説明できる。 2.脳脊髄液の産生と循環を説明できる。 3.脳の血液循環を説明できる。 4.伝導路（上行性、下行性）を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」301～311ｐ，340～341ｐを通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　各器官の位置関係を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/14（月） 2時限 11:10～12:40	神経系　総論２	【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-3　人体の構造と機能 C-3-4）　身体を構成する組織と器官 C-3-4）-（5）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/17（木） 1時限 09:30～11:00	局所解剖学　腹部	【授業の一般目標】 腹部の各器官系の位置関係を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.腹部の骨を説明できる。 2.腹部の筋を説明できる。 3.腹部の神経を説明できる。 4.腹部の循環を説明できる。 5.腹部の内蔵を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「入門人体解剖学」の腹部に相当する箇所を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：各器官の位置関係を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 キ　頭頸部の局所解剖 ａ　画像解剖 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-3　人体の構造と機能 C-3-4）　身体を構成する組織と器官 C-3-4）-（1）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 C-3-4）-（3）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C-3-4）-（4）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4）-（5）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/24（木） 1時限 09:30～11:00	局所解剖学　頭頸部	【授業の一般目標】 頭頸部の各器官系の位置関係を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭頸部の感覚神経を説明できる。 2.頭頸部の筋を説明できる。 3.頭頸部の運動神経を説明できる。 4.頸部の水平断面を説明できる。 5.頭頸部の循環を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：「プロメテウス解剖学コアアトラス」の頭頸部を通読する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：各器官の位置関係を確認する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 黒板の板書と必要に応じてスライドの提示，資料配布 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 キ　頭頸部の局所解剖 ａ　画像解剖 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-3　人体の構造と機能 C-3-4）　身体を構成する組織と器官 C-3-4）-（1）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。	五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/24（木） 1時限 09:30～11:00	局所解剖学　頭頸部	C－3－4）－（3）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C－3－4）－（4）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C－3－4）－（5）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	五十嵐　由里子
2025/07/24（木） 2時限 11:10～12:40	神経系　脳神経・循環器　頭頸部（骨実習）	【授業の一般目標】 脳神経と頭頸部の脈管の経路を理解するために頭蓋骨を観察し，脳神経と頭頸部の脈管の分布経路を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.内頭蓋底の構造が説明できる。 2.外頭蓋底の構造が説明できる。 3.翼口蓋窩と周囲の交通が説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　頭蓋骨の講義内容を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：　脳神経と脈管の通路を復習する。 ・事後学習時間：　30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 頭蓋骨を観察して，脳神経の経路を総括する。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	松野　昌展 五十嵐　由里子 榊　実加
2025/08/18（月） 1時限 10:00～10:50	平常試験２	【授業の一般目標】 呼吸器系、神経系、感覚器系、循環器系の構造と機能を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.各器官系の構造と機能を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：　各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事前学修時間：　3時間以上 ・事後学習項目：　各器官系の構造と機能を総復習する。 ・事後学習時間：　1時間以上 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（4）　血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 C－3－4）－（5）　神経系 ③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官	五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/18（月） 1時限 10:00～10:50	平常試験２	C-3-4）-（8）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。	五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/09/08（月） 3時限 13:40～15:10	第１回①　解剖実習と倫理	【授業の一般目標】 人体構造の知識を深めるため、解剖実習を行うが、そのための法律や倫理観など、これからの実習で「ヒトとして」とるべき行動について考え、歯科学生としてあるべき姿を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.献体について説明する。 2.解剖に関連する法律を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：解剖に関する法律を調べておく。 ・事前学修時間：　20分 ・事後学習項目：配付資料を熟読する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 スライドの提示と資料配付 【学修方略（ＬＳ）】 講義 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １　医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア　医の倫理 ｂ　医療者の倫理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など） 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1　プロフェッショナリズム A-1-1）　医の倫理と生命倫理 ③臨床（生と死に関わる問題を含む）に関する倫理的問題を説明できる。 ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 A-8　科学的探究 A-8-1）　医学研究への志向の涵養（研究マインドの涵養） ①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。 A-9　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子
2025/09/08（月） 4時限 15:20～16:50	第１回②　解剖実習　ガイダンス	【授業の一般目標】 解剖実習を行うための準備として使用する器具の確認を行う。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.器具の名称と使用方法を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：生物実習で使用した器具を再確認する。 ・事前学修時間：　20分 ・事後学習項目：実習書の器具一覧を確認する。 ・事後学習項目：　10分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 器具の確認 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １　医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア　医の倫理 ｂ　医療者の倫理（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言など） 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1　プロフェッショナリズム A-1-3）　歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/09/09（火） 3時限 13:40～15:10	第２回　皮膚の構造（1）後面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造について、観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.皮膚の層状構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：組織学で学んだ表皮、真皮、皮下組織の構造を調べておく。 ・事前学修時間：　30分	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/09（火） 3時限 13:40～15:10	第２回　皮膚の構造（1）後面	・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（１）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/09/09（火） 4時限 15:20～16:50	第２回　皮膚の構造（1）後面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造について、観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.皮膚の層状構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：組織学で学んだ表皮、真皮、皮下組織の構造を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｄ　組織［上皮組織、結合〈支持〉組織（血液を含む）、筋組織、神経組織］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（１）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/09/16（火） 3時限 13:40～15:10	第３回　皮膚の構造（2）前面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造について、観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.皮膚の層状構造を説明する。 2.頸部表層の筋（広頸筋）の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：広頸筋の構造を復習する。 ・事前学修時間：　20分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/16（火） 3時限 13:40～15:10	第３回　皮膚の構造（2）前面	C　生命科学 C－3　人体の構造と機能 C－3－4）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（1）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 E　臨床歯学 E－2　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E－2－1）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/09/16（火） 4時限 15:20～16:50	第３回　皮膚の構造（2）前面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造について、観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.皮膚の層状構造を説明する。 2.頸部表層の筋（広頸筋）の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：広頸筋の構造を復習する。 ・事前学修時間：　20分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C－3　人体の構造と機能 C－3－4）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（1）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 E　臨床歯学 E－2　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E－2－1）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/09/22（月） 3時限 13:40～15:10	第４回　皮膚の構造（3）前面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造について、観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.皮膚の層状構造を説明する。 2.頸部表層の筋（広頸筋）の構造を説明する。 3.皮下組織の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：広頸筋の構造を復習する。 ・事前学修時間：　20分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C－3　人体の構造と機能 C－3－4）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（1）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 E　臨床歯学 E－2　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E－2－1）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/22（月） 4時限 15:20～16:50	第４回　皮膚の構造（3）前面	【授業の一般目標】 人体を外界から保護している皮膚の構造について、観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.皮膚の層状構造を説明する。 2.頸部表層の筋（広頸筋）の構造を説明する。 3.皮下組織の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：広頸筋の構造を復習する。 ・事前学修時間：　20分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（１）　上皮組織と皮膚・粘膜系 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/09/29（月） 3時限 13:40～15:10	第５回　前面浅層（１）顔面筋（表情筋）、胸部、腹部の筋	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。 2.胸部の筋の構造と機能を説明する。 3.腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/09/29（月） 4時限 15:20～16:50	第５回　前面浅層（１）顔面筋（表情筋）、胸部、腹部の筋	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/29（月） 4時限 15:20～16:50	第５回　前面浅層（１）顔面筋（表情筋）、胸部、腹部の筋	2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/09/30（火） 3時限 13:40～15:10	第６回　前面浅層（２）顔面筋（表情筋）、胸部、腹部の筋	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。 2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/09/30（火） 4時限 15:20～16:50	第６回　前面浅層（２）顔面筋（表情筋）、胸部、腹部の筋	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/30（火） 4時限 15:20～16:50	第６回　前面浅層（２）顔面筋（表情筋）、胸部、腹部の筋	2. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 3. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：眼裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	内藤　美智子
2025/10/06（月） 3時限 13:40～15:10	第７回　前面浅層（３）顔面筋（表情筋）、頸部の感覚神経、胸部、腹部の筋	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 口裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。 2. 頸部の感覚神経の分布を説明する。 3. 胸部の筋の構造と機能を説明する。 4. 腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：口裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/10/06（月） 4時限 15:20～16:50	第７回　前面浅層（３）顔面筋（表情筋）、頸部の感覚神経、胸部、腹	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/06（月） 4時限 15:20～16:50	部の筋	1.口裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。 2.頸部の感覚神経の分布を説明する。 3.胸部の筋の構造と機能を説明する。 4.腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：口裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	近藤　信太郎
2025/10/07（火） 3時限 13:40～15:10	第８回　前面浅層（４）顔面筋（表情筋）、頸部の感覚神経、胸部、腹部の筋	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。 2.頸部の感覚神経の分布を説明する。 3.胸部の筋の構造と機能を説明する。 4.腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：口裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/07（火） 4時限	第８回　前面浅層（４）顔面筋（表	【授業の一般目標】 皮下に存在する構造を観察することにより知識を習得する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
15:20～16:50	情筋）、頸部の感覚神経、胸部、腹部の筋	【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.口裂周囲の顔面筋（表情筋）の構造と機能を説明する。 2.頸部の感覚神経の分布を説明する。 3.胸部の筋の構造と機能を説明する。 4.腹部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：口裂周囲の顔面筋（表情筋）の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ａ　顔面筋〈表情筋〉 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ-２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ-２-１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/14（火） 3時限 13:40～15:10	第９回　背部浅層　後頭部の皮下組織、僧帽筋・広背筋、殿部	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明する。 2.背部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：後頭動脈の分岐部と分布を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ-３　人体の構造と機能 Ｃ-３-４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ-３-４）-（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/14（火） 4時限 15:20～16:50	第９回　背部浅層　後頭部の皮下組織、僧帽筋・広背筋、殿部	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.後頭部の筋の構造と機能、神経、血管の分布を説明する。 2.背部の筋の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：後頭動脈の分岐部と分布を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/14（火） 4時限 15:20～16:50	第９回　背部浅層 後頭部の皮下組織、僧帽筋・広背筋、殿部	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/15（水） 3時限 13:40～15:10	第10回　背部深層、殿部浅層	【授業の一般目標】 各部に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.背部の筋の構造と機能を説明する。 2.殿部の深部の筋の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/10/15（水） 4時限 15:20～16:50	第10回　背部深層、殿部浅層	【授業の一般目標】 各部に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.背部の筋の構造と機能を説明する。 2.殿部の深部の筋の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/15（水） 4時限 15:20～16:50	第10回　背部深層、殿部浅層	C－3　人体の構造と機能 C－3－4）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（3）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C－3－4）－（5）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/10/20（月） 3時限 13:40～15:10	第11回　後頭下三角、上肢帯、殿部深層	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.背部の筋の構造と機能を説明する。 2.殿部の深部の筋の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C－3　人体の構造と機能 C－3－4）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（3）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C－3－4）－（5）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/10/20（月） 4時限 15:20～16:50	第11回　後頭下三角、上肢帯、殿部深層	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.背部の筋の構造と機能を説明する。 2.殿部の深部の筋の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：坐骨神経について調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C－3　人体の構造と機能 C－3－4）　身体を構成する組織と器官 C－3－4）－（3）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 C－3－4）－（5）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/10/21（火） 3時限 13:40～15:10	第12回　前面浅層（4）側頭部浅層、舌骨下筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.側頭部の感覚神経と血管の分布を説明する。 2.舌骨下筋群の構造と機能・支配神経を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頸神経ワナについて調べておく。 ・事前学修時間：　30分	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/21（火） 3時限 13:40～15:10	第12回　前面浅層（４）側頭部浅層、舌骨下筋群	・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/21（火） 4時限 15:20～16:50	第12回　前面浅層（４）側頭部浅層、舌骨下筋群	【授業の一般目標】 各部浅層～中間層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 側頭部の感覚神経と血管の分布を説明する。 2. 舌骨下筋群の構造と機能・支配神経を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：頸神経ワナについて調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/27（月） 3時限 13:40～15:10	第13回　前面深層（１）顔面筋（表情筋）と顔面神経、頸部深層	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 顔面筋（表情筋）に分布する顔面神経と耳下腺の関係を説明する。 2. 頸動脈鞘に関連する構造を説明する。 3. 腕神経叢の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：耳下腺神経叢とその分枝の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/27（月） 3時限 13:40～15:10	第13回　前面深層（１）顔面筋（表情筋）と顔面神経、頸部深層	【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/10/27（月） 4時限 15:20～16:50	第13回　前面深層（１）顔面筋（表情筋）と顔面神経、頸部深層	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顔面筋（表情筋）に分布する顔面神経と耳下腺の関係を説明する。 2.頸動脈鞘に関連する構造を説明する。 3.腕神経叢の構造と機能を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：耳下腺神経叢とその分枝の走行を調べておく。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/10/28（火） 3時限 13:40～15:10	第14回　前半総復習	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部浅層の構造を説明する。 2.頸部浅層の構造を説明する。 3.胸部浅層の構造を説明する。 4.腹部浅層の構造を説明する。 5.背部・腰部の構造を説明する。 6.上肢・下肢浅層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/28（火） 3時限 13:40～15:10	第14回　前半総復習	アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/10/28（火） 4時限 15:20～16:50	第14回　前半総復習	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部浅層の構造を説明する。 2.頸部浅層の構造を説明する。 3.胸部浅層の構造を説明する。 4.腹部浅層の構造を説明する。 5.背部・腰部の構造を説明する。 6.上肢・下肢浅層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/04（火） 3時限 13:00～13:50	平常試験１　（第１５回）実習試験（試験時間：13：00～15：30に行う）	【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭頸部の構造を説明する。 2.胸腹部の構造を説明する。 3.体枝の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに実習で学習したことを復習する。 ・事前学修時間：　180分 ・事後学習項目：出題された内容を図、アトラス等で確認する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/04（火） 3時限 13:00～13:50	平常試験１　（第１５回）実習試験（試験時間：13：00～15：30に行う）	・事後学習時間：　50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/04（火） 4時限 14:00～14:50	平常試験１　（第１５回）実習試験（試験時間：13：00～15：30に行う）	【授業の一般目標】 全身の構造を説明する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭頸部の構造を説明する。 2.胸腹部の構造を説明する。 3.体枝の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに実習で学習したことを復習する。 ・事前学修時間：　180分 ・事後学習項目：出題された内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　50分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/10（月） 3時限 13:40～15:10	第16回　試験のフィードバック	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部浅層の構造を説明する。 2.頸部浅層の構造を説明する。 3.胸部浅層の構造を説明する。 4.腹部浅層の構造を説明する。 5.背部・腰部の構造を説明する。 6.上肢・下肢浅層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：平常試験に出題された問題を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習（スケッチ） 【学修方略（ＬＳ）】	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/10（月） 3時限 13:40～15:10	第16回　試験のフィードバック	実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/11/10（月） 4時限 15:20～16:50	第16回　試験のフィードバック	【授業の一般目標】 各部浅層～深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部浅層の構造を説明する。 2.頸部浅層の構造を説明する。 3.胸部浅層の構造を説明する。 4.腹部浅層の構造を説明する。 5.背部・腰部の構造を説明する。 6.上肢・下肢浅層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：平常試験に出題された問題を復習する。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習（スケッチ） 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加
2025/11/11（火） 3時限 13:40～15:10	第17回　前面深層（２）耳下腺神経叢、顔面動脈、開胸、開腹	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.耳下腺神経叢深層の構造を説明する。 2.顔面動脈の分布を説明する。 3.胸部内臓の位置関係を説明する。 4.腹部内臓の位置関係を説明する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/11（火） 3時限 13:40～15:10	第17回　前面深層（２）耳下腺神経叢、顔面動脈、開胸、開腹	【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顔面に分布する動脈を調べる。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ａ　動脈系 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/11（火） 4時限 15:20～16:50	第17回　前面深層（２）耳下腺神経叢、顔面動脈、開胸、開腹	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.耳下腺神経叢深層の構造を説明する。 2.顔面動脈の分布を説明する。 3.胸部内臓の位置関係を説明する。 4.腹部内臓の位置関係を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顔面に分布する動脈を調べる。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ａ　動脈系 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/11（火） 4時限 15:20～16:50	第17回　前面深層（２）耳下腺神経叢、顔面動脈、開胸、開腹	④頭頸部の脈管系を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/17（月） 3時限 13:40～15:10	第18回　各部の構造（１）舌骨上筋群、上縦隔	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 舌骨上筋群の構造と機能を説明する。 2. 上縦隔に存在する構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：舌骨上筋の構造と機能を調べる。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｃ　浅頸筋 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ−３−４）−（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/11/17（月） 4時限 15:20～16:50	第18回　各部の構造（１）舌骨上筋群、上縦隔	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 舌骨上筋群の構造と機能を説明する。 2. 上縦隔に存在する構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：舌骨上筋の構造と機能を調べる。 ・事前学修時間：　30分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 ウ　頭頸部の筋系 ｃ　浅頸筋 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ−３−４）−（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 Ｅ　臨床歯学	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/17（月） 4時限 15:20～16:50	第18回　各部の構造（１）舌骨上筋群、上縦隔	Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/11/18（火） 3時限 13:40～15:10	第19回　各部の構造（２）髄膜、心臓、肺	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.髄膜の構造を説明する。 2.心臓表面の構造を説明する。 3.肺の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：心膜の構造を復習する。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 Ｃ−３−４）−（８）　呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/18（火） 4時限 15:20～16:50	第19回　各部の構造（２）髄膜、心臓、肺	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.髄膜の構造を説明する。 2.心臓表面の構造を説明する。 3.肺の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：心膜の構造を復習する。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。 Ｃ−３−４）−（８）　呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/18（火） 4時限 15:20～16:50	第19回　各部の構造（２）髄膜、心臓、肺	E-2-1）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 C　生命科学 C-3　人体の構造と機能 C-3-4）　身体を構成する組織と器官 C-3-4）-（5）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/25（火） 3時限 13:40～15:10	第20回　各部の構造（３）脳、頭蓋底、咀嚼筋、顔面の感覚、縦隔、心臓内部、小網の血管	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.脳表面の構造を説明する。 2.頭蓋底の構造を説明する。 3.咀嚼筋の構造と機能を説明する。 4.顔面の感覚神経の分布を説明する。 5.縦隔に存在する構造を説明する。 6.心臓内部の構造を説明する。 7.小網内の血管の分布を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：三叉神経の分布を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 C　生命科学 C-3　人体の構造と機能 C-3-4）　身体を構成する組織と器官 C-3-4）-（4）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 C-3-4）-（5）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 E　臨床歯学 E-2　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/11/25（火） 4時限 15:20～16:50	第20回　各部の構造（３）脳、頭蓋底、咀嚼筋、顔面の感覚、縦隔、心臓内部、小網の血管	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.脳表面の構造を説明する。 2.頭蓋底の構造を説明する。 3.咀嚼筋の構造と機能を説明する。 4.顔面の感覚神経の分布を説明する。 5.縦隔に存在する構造を説明する。 6.心臓内部の構造を説明する。 7.小網内の血管の分布を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：三叉神経の分布を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/25（火） 4時限 15:20～16:50	第20回　各部の構造（３）脳、頭蓋底、咀嚼筋、顔面の感覚、縦隔、心臓内部、小網の血管	【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 ⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/12/01（月） 3時限 13:40～15:10	第21回　各部の構造（４）頸部離断	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頸部の神経の分布を説明する。 2.頸部の血管の分布を説明する。 3.頸椎の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：迷走神経の分布を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/12/01（月） 4時限 15:20～16:50	第21回　各部の構造（４）頸部離断	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頸部の神経の分布を説明する。 2.頸部の血管の分布を説明する。 3.頸椎の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：迷走神経の分布を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 カ　頭頸部の神経系 ａ　脳神経 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/01（月） 4時限 15:20～16:50	第21回　各部の構造（４）頸部離断	③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/12/02（火） 3時限 13:40～15:10	第22回　各部の構造（５）咽頭後壁、腸間膜	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.咽頭後壁の構造を説明する。 2.腸間膜内の血管の分布を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：交感神経、迷走神経、舌咽神経の頸部における分布を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ｄ　咽頭、喉頭 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 宮坂　知宏 内藤　美智子
2025/12/02（火） 4時限 15:20～16:50	第22回　各部の構造（５）咽頭後壁、腸間膜	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.咽頭後壁の構造を説明する。 2.腸間膜内の血管の分布を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：交感神経、迷走神経、舌咽神経の頸部における分布を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ｄ　咽頭、喉頭 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 宮坂　知宏 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/02（火） 4時限 15:20～16:50	第22回　各部の構造（５）咽頭後壁、腸間膜	②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 宮坂　知宏 内藤　美智子
2025/12/08（月） 3時限 13:40～15:10	第23回　各部の構造（６）口腔、鼻腔、咽頭、喉頭	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.咽頭と交通する鼻腔、口腔、喉頭、食道との関係を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：咽頭に連絡する器官の構造を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎 宮坂　知宏
2025/12/08（月） 4時限 15:20～16:50	第23回　各部の構造（６）口腔、鼻腔、咽頭、喉頭	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.咽頭と交通する鼻腔、口腔、喉頭、食道との関係を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：咽頭に連絡する器官の構造を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎 宮坂　知宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/08（月） 4時限 15:20～16:50	第23回　各部の構造（６）口腔、鼻腔、咽頭、喉頭	Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎 宮坂　知宏
2025/12/09（火） 3時限 13:40～15:10	第24回　各部の構造（７）口腔、脊髄、腹部消化管	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 口腔の構造と機能を説明する。 2. 脊髄の構造を説明する。 3. 胃、十二指腸、膵臓の関係を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：軟口蓋の粘膜上の構造と筋を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 宮坂　知宏 内藤　美智子
2025/12/09（火） 4時限 15:20～16:50	第24回　各部の構造（７）口腔、脊髄、腹部消化管	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1. 口腔の構造と機能を説明する。 2. 脊髄の構造を説明する。 3. 胃、十二指腸、膵臓の関係を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：軟口蓋の粘膜上の構造と筋を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ａ　口腔 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－２）　口腔領域の構造と機能 ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 ③舌の構造と機能を説明できる。 ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 宮坂　知宏 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/09（火） 4時限 15:20～16:50	第24回　各部の構造（７）口腔、脊髄、腹部消化管	Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 宮坂　知宏 内藤　美智子
2025/12/15（月） 3時限 13:40～15:10	第25回　各部の構造（８）顎動脈、上顎洞、翼口蓋窩、腸、後腹壁	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎動脈の分布を説明する。 2.上顎洞の構造を説明する。 3.翼口蓋窩の構造を説明する。 4.後腹壁に存在する血管、神経の分布を説明する。 5.小腸、大腸の粘膜の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顎動脈の分枝を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ａ　動脈系 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/12/15（月） 4時限 15:20～16:50	第25回　各部の構造（８）顎動脈、上顎洞、翼口蓋窩、腸、後腹壁	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎動脈の分布を説明する。 2.上顎洞の構造を説明する。 3.翼口蓋窩の構造を説明する。 4.後腹壁に存在する血管、神経の分布を説明する。 5.小腸、大腸の粘膜の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顎動脈の分枝を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 エ　頭頸部の脈管系 ａ　動脈系 【コアカリキュラム】	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/15（月） 4時限 15:20～16:50	第25回　各部の構造（８）顎動脈、上顎洞、翼口蓋窩、腸、後腹壁	Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 ⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ④頭頸部の脈管系を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/12/16（火） 3時限 13:40～15:10	第26回　各部の構造（９）顎関節、外頸動脈、眼窩、肺、腎臓、生殖器	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎関節の構造を説明する。 2.外頸動脈の分枝を説明する。 3.眼窩と眼球付属器の構造と機能を説明する。 4.腎臓の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顎関節の構造を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 グループ討論 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む） 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（８）　呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 Ｃ−３−４）−（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ−３−４）−（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ−２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ−２−１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/12/16（火） 4時限 15:20～16:50	第26回　各部の構造（９）顎関節、外頸動脈、眼窩、肺、腎臓、生殖器	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.顎関節の構造を説明する。 2.外頸動脈の分枝を説明する。 3.眼窩と眼球付属器の構造と機能を説明する。 4.腎臓の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：顎関節の構造を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 グループ討論 【学修方略（ＬＳ）】 演習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/16（火） 4時限 15:20～16:50	第26回　各部の構造（９）顎関節、外頸動脈、眼窩、肺、腎臓、生殖器	４　頭頸部の構造 イ　頭頸部の骨格系 ｂ　頭蓋骨（関節、靭帯を含む） 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2025/12/22（月） 3時限 13:40～15:10	第27回　各部位の構造（10）顔面神経、中耳、内耳、眼球、喉頭、肝臓、生殖器	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.側頭骨内部の構造を説明する。 2.眼球の構造と機能を説明する。 3.喉頭の構造と機能を説明する。 4.肝臓・膵臓・脾臓の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：喉頭の筋を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ｄ　咽頭、喉頭 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 Ｃ－３－４）－（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/12/22（月） 4時限 15:20～16:50	第27回　各部位の構造（10）顔面神経、中耳、内耳、眼球、喉頭、肝臓、生殖器	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.側頭骨内部の構造を説明する。 2.眼球の構造と機能を説明する。 3.喉頭の構造と機能を説明する。 4.肝臓・膵臓・脾臓の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：喉頭の筋を調べる。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/22（月） 4時限 15:20～16:50	第27回　各部位の構造（10）顔面神経、中耳、内耳、眼球、喉頭、肝臓、生殖器	【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ　正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢変化 ４　頭頸部の構造 オ　頭頸部の内臓系 ｄ　咽頭、喉頭 【コアカリキュラム】 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 Ｃ－３－４）－（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。 Ｅ　臨床歯学 Ｅ－２　口腔・顎顔面領域の常態と疾患 Ｅ－２－１）　頭頸部の基本構造と機能 ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 近藤　信太郎
2025/12/23（火） 3時限 13:40～15:10	第28回①　後半総復習（１）	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部深層の構造を説明する。 2.頸部深層の構造を説明する。 3.胸部深層の構造を説明する。 4.腹部深層の構造を説明する。 5.上肢・下肢深層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子
2025/12/23（火） 4時限 15:20～16:50	第28回①　後半総復習（１）	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部深層の構造を説明する。 2.頸部深層の構造を説明する。 3.胸部深層の構造を説明する。 4.腹部深層の構造を説明する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/23（火） 4時限 15:20～16:50	第28回①　後半総復習（１）	5.上肢・下肢深層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ−３−４）−（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 Ｃ−３−４）−（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 Ｃ−３−４）−（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｃ−３−４）−（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ−３−４）−（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子
2026/01/13（火） 3時限 13:40～15:10	第29回①　後半総復習（２）	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部深層の構造を説明する。 2.頸部深層の構造を説明する。 3.胸部深層の構造を説明する。 4.腹部深層の構造を説明する。 5.上肢・下肢深層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ−３　人体の構造と機能 Ｃ−３−４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ−３−４）−（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ−３−４）−（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ−３−４）−（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ−３−４）−（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/13（火） 3時限 13:40～15:10	第29回①　後半総復習（２）	を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2026/01/13（火） 4時限 15:20～16:50	第29回①　後半総復習（２）	【授業の一般目標】 各部深層に存在する構造を観察することにより知識を習得する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭部深層の構造を説明する。 2.頸部深層の構造を説明する。 3.胸部深層の構造を説明する。 4.腹部深層の構造を説明する。 5.上肢・下肢深層の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでに剖出した構造を再確認する。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 ご遺体による実習 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ④脳と脊髄の構造と機能（運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能）を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2026/01/20（火） 3時限 13:00～13:50	平常試験２　（第30回）実習試験（試験時間：13：00～15：30に行う）	【授業の一般目標】 全身の構造を説明できる。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.頭頸部の構造を説明する。 2.胸腹部の構造を説明する。 3.体肢の構造を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：これまでの講義、実習で学んだ内容を総復習する。感想文を作成する。（試験開始前に提出） ・事前学修時間：　180　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　無 ご遺体による試験および実習に関連する筆記試験 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/01/20（火） 3時限 13:00～13:50	平常試験２　（第30回）実習試験 （試験時間：13：00～15：30に行う）	必修の基本的事項 ４　人体の正常構造・機能 ア　全身・口腔の構造と機能 ｅ　器官系［骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系〈脈管系〉、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系］ 【コアカリキュラム】 Ｃ　生命科学 Ｃ－３　人体の構造と機能 Ｃ－３－４）　身体を構成する組織と器官 Ｃ－３－４）－（３）　筋組織と筋系 ③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。 Ｃ－３－４）－（４）　血液・リンパと循環器系 ②血液循環（肺循環、体循環及び胎児循環）の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。 Ｃ－３－４）－（５）　神経系 ①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。 Ｃ－３－４）－（６）　感覚器系と感覚 ①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。 Ｃ－３－４）－（７）　消化器系 ①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。 ②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。 ③膵臓（外分泌部と内分泌部）の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（８）　呼吸器系 ①気道系の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１０）　泌尿器系と体液・電解質調節 ①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。 Ｃ－３－４）－（１１）　生殖器系 ①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子
2026/01/20（火） 4時限 14:00～14:50	納棺　（第30回） （作業時間：16：00～17：00に行う）	【授業の一般目標】 解剖実習を通じて学んだ人体構造に関する知識と倫理観を再確認する。 【行動目標（ＳＢＯｓ）】 1.献体を説明する。 2.人間の尊厳を説明する。 3.生と死について説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：献体、人間の尊厳、生と死について復習しておく。 ・事前学修時間：　30　分 ・事後学習項目：観察した内容を図、アトラス等で確認する。 ・事後学習時間：　20分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング　有 納棺、清掃をすることから倫理観を考え直す。 【学修方略（ＬＳ）】 実習 【場所（教室/実習室）】 303教室、第1実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 １　医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア　医の倫理 ａ　患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 Ａ　歯科医師として求められる基本的な資質・能力 Ａ－１　プロフェッショナリズム Ａ－１－１）　医の倫理と生命倫理 ③臨床（生と死に関わる問題を含む）に関する倫理的問題を説明できる。 Ａ－９　生涯にわたって共に学ぶ姿勢 Ａ－９－１）　生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ④科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に積極的に参加する。	塩崎　一成 五十嵐　由里子 松野　昌展 榊　実加 佐々木　佳世子 内藤　美智子